

くまの議会だより



主な内容

- 新体制でスタート!
- 令和5年度予算をチェック!
- ズバリ町政を問う!

第126号
2023.6.1

令和5年
3月定例会

筆の都くまの



熊野町観光大使 ふいでりん

熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧ください。

発行 ● 熊野町議会 〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号 TEL(082)820-5630 FAX(082)855-4520
議会の情報は、熊野町ホームページから。 <http://www.town.kumano.hiroshima.jp> E-mail:gikai@town.kumano.lg.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

議会新体制 14人でスタート

議長に時光議員、副議長に尺田議員

～「熊野町に住んで良かった」と思える“まちづくり”のために～

令和5年5月10日に、改選後初となる臨時会が招集され14人の議員が出席しました。臨時会では、議長、副議長の選挙や、各常任委員会委員、議会運営委員、監査委員などの選任を行い、新しい体制のもとでの4年間の議会活動がスタートしました。議長、副議長、監査委員、広島県後期高齢者医療広域連合議員、広島県水道広域連合企業団議会議員の任期は4年、常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会の各委員の任期は2年です。

総務建設委員会

総務部、住民生活部、建設農林部、会計課、農業委員会など「総務・建設部門」に関する調査



委員長 光本 一也
① 城之堀 ② 2回



副委員長 水原 耕一
① 呉地 ② 2回



荒瀧 穂積
① 呉地 ② 5回



竹爪 憲吾
① 中溝 ② 3回



尺田 耕平
① 萩原 ② 3回



福垣内 邦治
① 萩原 ② 2回



世良 将生
① 貴船 ② 1回

文教福祉委員会

社会福祉部、教育委員会など「民生・教育部門」に関する調査



委員長 中島 数宜
① 平谷 ② 2回



副委員長 民法 正則
① 中溝 ② 4回



時光 良造
① 新宮 ② 4回



大瀬戸 宏樹
① 出来庭 ② 6回



片川 学
① 川角 ② 4回



沖田 ゆかり
① 萩原 ② 4回



藤本 健太
① 柿迫 ② 1回

※①地区、②当選回数



副議長 尺田 耕平



議長 時光 良造

議長就任あいさつ
町民の皆さまに一言議長就任のあいさつを申し上げます。
平素は当議会に対し、深いご理解とご協力を賜わり心より厚くお礼申し上げます。
このたび改選後の臨時会におきまして、議員からご推挙を賜わり熊野町議会議長に就任させていただくことになりました。
心より感謝いたしますとともに、責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。
私たち議会は、町民の皆さまから選ばれたということ肝に銘じ、多様化する住民ニーズの変化を的確に把握し、町執行部とも連携して参ります。町民の皆さまにとってより身近で開かれた議会を目指して会話と議論を重ね、皆さまの期待にお応えしたいと固い決意で町政発展のために、鋭意努めてまいります。
どうぞ今後とも、議会の活動につきまして、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

- 議会運営委員会**
議長を円滑に、効率的に運営するために、常任委員会とは別に設置
委員長 片川 学
副委員長 光本 一也
委員 民法 正則
沖田 ゆかり
竹爪 憲吾
中島 数宜
- 議会広報委員会**
「くまの議会だより」の発行など
(P16に関連記事)
- 監査委員**
沖田 ゆかり
- 広島県水道広域連合企業団議会議員**
時光 良造
- 広島県後期高齢者医療広域連合議会議員**
大瀬戸 宏樹

令和5年度予算を可決！

一般会計95億5,643万円

主な事業をピックアップ！

(数値については表記単位未満を四捨五入しています)

筆の里工房周辺整備



公園の実施設設計や上下水道設備工事
7,900万円

ふるさと納税



ふるさと納税のPR等
1億3,060万円

出産・子育て支援の充実



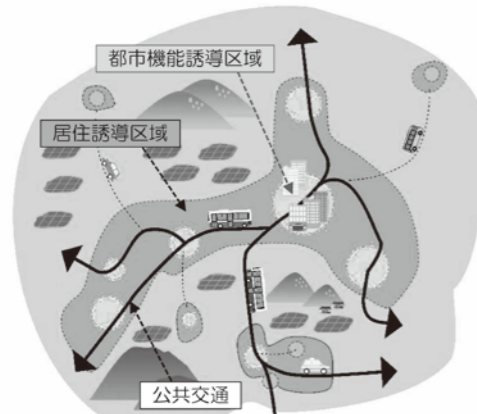
出産子育て応援給付金の支給
1,332万円

子ども医療費助成の拡充



通院助成対象年齢を中学3年生まで拡大
6,463万円

立地適正化計画の策定



コンパクト・プラス・ネットワークのイメージ図

持続可能なまちづくりの推進
900万円

バス路線の活性化



地域公共交通計画の策定、おでかけ号の運行等
5,434万円

格技場照明のLED化



熊中・熊野東中の格技場照明を改修
900万円

通学路の安全確保



小中学校の狭い通学路を一部改良
4,000万円



審議は のべ250事業 約500分

3月8、9日の2日間、議員全員で構成する予算特別委員会を開催し、令和5年度予算の審議を行いました。

歳入

町税
個人町民税の額が前年度比プラス2.8%だが、増額の理由は。

【住民生活部次長】
コロナの影響がなくなり景気が回復する状況を見込み、所得が上がることを考慮して算出した。

介護保険料

65歳以上の被保険者保険料が0.7%減だが高齢者の方が減少してきているのか。

【高齢者支援課長】
後期高齢者は増えているが、令和元年度から高齢者総数は

歳出

減少してきている。令和5年度は54名減で算出している。

防犯対策事業

防犯カメラを3台設置するようだがどこに設置するのか。

【生活環境課長】
平谷のウォンツ辺りと西防災交流センター、阿戸別れ交差点を予定している。

防災対策事業

令和5年度の防犯灯設置予算の積算内訳は。

【生活環境課長】
設置等は40灯分の自治会負担の80%、電気料は、2,101

灯の12か月分の自治会費負担の60%を計上している。

廃棄物収集運搬事業

事業者の委託料増だが、ごみの量が増えたのか。

【生活環境課長】
ごみの量は変わらないが人件費や燃料費等の増額によるものである。

迷惑電話対策補助金

どのような内容か。

【生活環境課長】
特殊詐欺等の被害軽減のため、被害防止が付いた電話機の購入に対して、65歳以上の方で購入金額の半分、上限1万円を補助するものである。



自治会長の謝金が一律らしいが、加入世帯の数で変えた方がいいのではないかと。

地域振興事業

【住民生活部次長】
今は謝金の変更は考えていないが、今後の検討課題としていく。

定住交流促進事業

県と連携して移住支援を行っていくが、どのよう内容か。

【産業観光課長】
子育て世代の移住を目的に、東京圏から移住し、県があらかじめ登録している企業に就職された方に対して補助金を支給する。補助金の額は、一人世帯は60万円、二人以上の世帯は100万円、18歳未満一人につき100万円を加算する。

観光マップを新しく作成するようだが内容は。

観光推進事業

【産業観光課長】
数年に一度作成しているが、この度は町内の飲食店も掲載している。



現在の「食探マップ」、
「散策マップ」

令和5年度の長寿祝金を贈られる80歳、100歳は何名になるか。

敬老事業

【高齢者支援課長】
100歳は8名、80歳は366名になる。

【高齢者支援課長】
どのような人が利用されているか。

【高齢者支援課長】
海田警察、安芸消防署、自治会の3団体、民生委員の16名が利用している。

生活保護費支給事業

令和4年度の40歳未満の支給者数は。

【健康福祉部次長】
91名に支給している。そのうち、うつ病等の診断を受けている方が3割と増えてきている。

【総務部長】

事業ごとに計上している。今後検討していく。



熊野第三小学校

熊野健康スポーツ 振興会補助金

令和5年度夏まつりを実施するようだが、詳しい内容は

【町公民館長】

8月14日に町民グランドで夏まつりを行う。盆踊りや花火、キッチンカーの出店等予定している。

令和5年度 予算審議

CHECK

くまの子ども夢プラザ

2階に宿泊施設があるが、利用されていない。移住体験などで使えないか。

【総務部長】

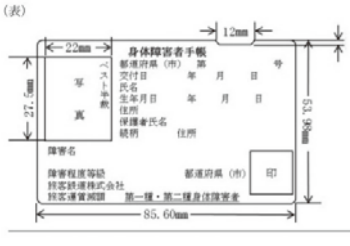
どのように利用するのかをもう少し検討したい。

障害者福祉一般事業

障害者手帳を便利にカードに移行している自治体がある。町の考えは。

【健康福祉部次長】

問い合わせは時々あるが今のところ検討までしていない。



次世代育成支援 対策事業

県のネウボラモデル事業補助金を活用して行うようだが、どのような事業か。

【子育て支援課長】

町内の事業所と協定を結び、子どもから高齢者まで幅広く見守るためのネットワークを展開していく事業である。

保育所等運営事業

昨年の11月時点で待機児童が14名いたが現在の待機児童の人数は。

【子育て支援課長】

3月現在20名が待機しているが、調整の結果全員に4月入所決定通知を送った。

保育所等一般事業

国から園に、保護者に対して園児のおむつの持ち帰りをやめさせるよう通達されているが守られているか。

【子育て支援課長】

町内の園では全て守られている。

通信運搬費

町からの調査表などが届く時、夫婦で一通ずつ届く。同じ住所なのでまとめてもいいのではないかと。

【総務部次長】

経費削減につながるよう努力する。



道路維持管理事業

町道の劣化が見られる箇所が多々ある。パトロール等をしていくようだが、対応の仕方は。

【建設農林部次長】

基本的に小規模な修繕に対しては早めに対処していく。

町道萩原線新設事業

県道矢野安浦線のバイパスが東中学校まで決まっているが、そこから阿戸別れ交差点までは町道で新設するのか。県道にならないか。

【建設農林部次長】

県道矢野安浦線バイパスは黒瀬トンネルまで延伸する予定のため、東中から阿戸別れ交差点までは町道で新設する予定である。

コンクリートブロック 摒除去補助金

令和4年度の実績は。

【都市整備課長】

除去して新設までが1件、除去のみが1件、計2件申請があった。

子育て世代「住むなら くまの」応援助成金

令和4年度の実績と町外の方の申請状況は。

【都市整備課長】

2月末で89世帯の申請がありそのうち、町外の方は51世帯の申請があった。

小中学校施設 維持管理事業

教育費に土地借り上げ料が計上されている。本来ならば総務部で計上すべき予算ではないか。

3月定例会 こんなこと

令和4年度 一般会計補正予算（5号）を可決
1億2,460万円の減額 総額103億9,179万円に

注目補正事業をピックアップ！

感染症対策事業 740万円

小・中学校において教材等の整備及び換気対策を実施する。



▲加湿空気清浄機

中学校大規模改造事業 4,444万円

熊野中学校西校舎のトイレの洋式化、内装改修、付随する機械・電気設備を改修する。



※写真は令和4年度に行った熊野東中学校の洋式化工事完了後のものです。

基金事業 1億280万円

ふるさと納税の寄付金や町有地売却などの収入を活用して、財政運営の健全性を確保する。



▲売却可能な町有財産（川角一丁目641番1）

補正予算質疑をピックアップ

Q. 交通輸送対策事業が340万円弱増えているが。

A. 令和4年9月分以降の広島電鉄㈱に支払いするためである。

Q. 固定資産税が4,300万円増えている内訳は。

A. 土地790万円増、家屋1,570万円増、償却資産1,600万円増である。また徴収率増も寄与している。

Q. 緊急支援給付金支援事業が1,900万円あまり減額しているが、対象者には全て給付できたのか。

A. ほぼ対象者には受け取っていただくことができた。

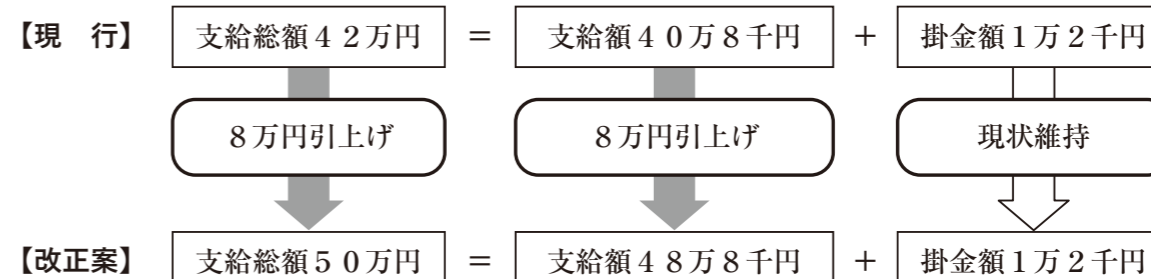
(各ページの数値については表記単位未満を四捨五入しています)

が決まりました！

諮問3件・議案24件、発議1件の中からをピックアップ

国民健康保険条例改正に伴い出産育児一時金の支給額を50万円に引き上げ

※国民健康保険に加入している方が出産されたときに支給される一時金



「犯罪被害者等支援条例」を可決

犯罪被害者が被害を受けたときから再び平穏な日常を営むよう必要な支援等を途切れることなく講じる。

【条例の主な内容】

1. 総合的な相談窓口の設置
2. 犯罪被害者見舞金の支給
3. 経済的自立の支援（町営住宅等の提供）

種類	金額	対象
傷害見舞金	10万円	全治1か月以上の加療を要する傷害を対象
遺族見舞金	30万円	犯罪行為被害者の遺族（配偶者・子・父母等）

【主な質疑】

- Q. 精神的苦痛、精神疾患に対しても傷害見舞金は支給されるか。
A. 医師の診断があれば、支給対象となる。

人権擁護委員の候補者を決定

6名の人権擁護委員のうち、3名の任期が令和5年6月30日で満了することに伴い、再任及び新たな委員を適任であると判断した。

- 梶山 孝之さん（再任・平谷）
- 荒谷 直美さん（再任・川角）
- 竹森 由美子さん（新任・出来庭）

※人権擁護委員とは…

地域の皆さんから人権相談を受け問題解決のお手伝いをしたり、法務局と協力して人権侵害を受けている被害者を救済したり、地域の皆さんに人権に関心を持ってもらえるような活動を行う人。本町には6人います。任期は3年間。

町政を問う

一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。
発言時間は1人答弁含め、60分以内としています。

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質問者	質問事項
11	水原 耕一 議員 竹爪 憲吾 議員	1. 町管理の法面や公園等の草刈りの対応は 1. ランドセルの無料配付を
12	中島 数宜 議員	1. 安心・安全に向けた取り組みは 1. コロナ禍以前の生活を取り戻す方策は
13	沖田 ゆかり 議員	1. 温かい給食の提供を 2. 役場窓口での住民サービスの向上を
14	荒瀧 穂積 議員	1. 自主財源はいくらか 2. 少子化対策はどうなっているか

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。
なお、熊野町議会のホームページ (<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。



水原 耕一 議員

Q 町管理の法面や公園等の草刈りの対応は

A 町長

周辺住民の安全性確保の観点から必要に応じた対応を行う。

【Q1】 町が樹木等の管理をしている法面や公園は何箇所あるか。
【A1】 定期的の間伐等を実施している広い面積を有する団地は、熊野団地、さくらの団地等の法面、皇帝ハイツの3箇所、公園については56箇所管理している。

【Q2】 それらの箇所に対して計画的に剪定を行っているか。
【A2】 3箇所の団地の法面については、草木の繁茂状況を確認し1年毎に計画している。公園については状況にもよるが、年2回できるだけ夏前の雑草が繁茂する時期と、秋口に草刈り業務を行っている。



【Q3】 団地の斜面等の草は枯れ葉が落ちる秋前に刈り取ってもらいたい。しかし、年度末の3月に刈り取る箇所がある。せめて、年末の12月には刈り取りを終えてもらいたい。綺麗な環境で新年を迎えたいと誰でも思う。3月に刈り取る理由は何か。
【A3】 夏場には雑草や雑木が生い茂る山でも、秋以降になると草が枯れ水分が少なくなり足元が良くわかるようになるので、作業しやすい。11月から3月に実施している。



竹爪 憲吾 議員

Q ランドセルの無料配付を

A 教育長

他市町の先進的な事例を研究しながら検討していく。

【Q1】 近年、住宅開発が盛んだが、新築住宅等世帯数の増加数はどうか。
【A1】 今年度は2月末で143件となり、昨年より30件程度増加し、1万6000世帯前後で推移している。

【Q2】 新築住宅を購入し、住む家庭は子育て世代の方が多いと思われる。それに伴い、小学校入学児童の人数の推移と今後の予想は。
【A2】 過去5年間約200人前後で推移し、今後5年も大きな変化はないと見込んでいる。

【Q3】 小学校入学時の保護者の費用負担を把握しているか。
【A3】 基準服・体操服は、約2万円弱、ランドセルは大体4〜5万円程度と把握している。



【Q4】 人口減少が全国的に深刻な中、熊野町では世帯数が維持され、小学校入学児童数も減少していない。
今後、ますます子育て世代が住みやすいまち、住みたいまちと認識してもらえような子育て支援、少子化対策の一例として、軽くて丈夫なランドセルの無料配付をしてはどうか。
【A4】 現段階では考えていないが、今後、先進地の事例などを参考にしながら研究し、よりよい教育環境づくりを進めていく。



中島 数宜 議員

Q 安心・安全に向けた取り組みは

A 町長

「安心・安全で快適に暮らせるまち」や「人と自然が調和する美しいまち」を掲げ取り組んでいる。

【Q1】 安心・安全に関する基本施策の取り組みは。

【A1】 「防災・減災対策の強化」「砂防・治山・治水の推進」「道路交通網の整備・充実」「農地の維持」等で、現状の課題を整理し、鋭意進めている。

【Q2】 危険区域内の集会所の安全対策は。

【A2】 日常的に人が居住するものではないことから、原則ハード的な防災対策をするのではなく、「警戒レベル3」の時点で施設の利用中止と、安全な地域へ早めに避難をお願いしたい。

【Q3】 防災行政無線の新たな情報伝達ツールはどのようなものか。



▲広島熊野トンネル

【A3】 町内放送と戸別受信機などの伝達方法の他に、町の公式LINEに登録すると、町内放送と同じタイミングで外出先でも情報が確認できるツールである。

【Q4】 平谷交差点を通過する交通量も安定している。横断歩道の復元はできないか。

【A4】 東広島バイパスの供用等、交差点を取り巻く交通の流れの変化も見込まれ、交通状況とともに安全性・利便性など総合的にその状況を確認していく。

Q コロナ禍以前の生活を取り戻す方策は

A 町長

筆まつりや町民体育大会など、多くのイベントの開催により賑わいが戻ることを期待する。

【Q1】 コロナワクチンの接種状況と、今後の課題は。

【A1】 高齢者の接種率は高い状況だが、若年層の接種率は、比較的低い状況となっている。今後も国の方針に沿って希望する全ての方に接種機会が確保できるよう集団接種等の実施体制を整えていく。

【Q2】 各種イベント等は、町民グラウンドの使用停止を含め5年も中止となっているが。

【A2】 今年は町民グラウンドで行われる「町民体育大会」など、多くのイベントも通常どおり開催される見込みである。適切な感染予防対策を講じながら賑わいの創設に努めていきたい。

【Q3】 生徒たちは、マスクを外す喜びと、着用を継続することの戸惑いが交差しているのではないかと。子ども達への対応は。

【A3】 体育の授業などでは十分な感染症対策を講じたうえでマスクを外してよいと指導しているが、マスク着用の児童生徒が多いのが現状である。4月以降はマスクの着用を求めないことを基本とし、マスク着用に関する差別・偏見等がないよう指導していく。



▲高校生の書道パフォーマンス



沖田 ゆかり 議員

Q 温かい給食の提供を

A 町長

早い時期に実施できるよう結論を出したい。



【Q1】 熊野町では、ランチボックスによるデリバリー給食のため、冷たいおかずが美味しくないなどの多くの声が出ています。公立小学校で温かい給食の提供が実施されていない現状こそが、最も大きな課題であると考えています。

【A1】 児童生徒、保護者から冷たいという不評をいただいている。今後、温かい給食の研究を重ねていく。

【Q2】 食育指導について、文科省より給食指導においては準備から片付けまでの一連の指導の中で、手洗い、配膳、食器の並べ方、食事マナーなどを習得する必要があるが、熊野町ではランチボックスのため、十分な指導ができていないが。

【A2】 食育指導については食育朝会や給食日より等で補完している。

【Q3】 食育指導が十分にできる、食缶方式（民間事業者が調理した給食を保温食缶などに入れ各校に配送する方式）による温かい給食の提供を強く要望するが。

【A3】 食育の充実に向けて食缶方式を含めた、導入のコストなど様々な観点から研究を進めていく。

Q 役場窓口での住民サービスの向上を

A 総務部長

役場に行かなくてよい、書かなくてよいなどの取り組みを行っている。



【Q1】 町民が住民票や戸籍謄本などの写しを取得するためには、申請書を手書きで記入しなければならぬので、1度に複数の申請を行う方は、同じ内容を何度も記入することが、負担になっているとの声を伺っている。

【A1】 書かない窓口を実現するための取り組みは、税務住民課の窓口における証明書等の受付業務では、本人確認書類による本人確認後、職員がヒアリングをしながら申請書を作成し、証明書を発行する「書かない窓口」の試験的な運用を開始している。

【Q2】 回らない窓口の取り組みとして、転入出や転居などについてはどうか。

【A2】 転入出については現段階では、まだ回っていないのが現状である。

【Q3】 行かない窓口の取り組みについては。



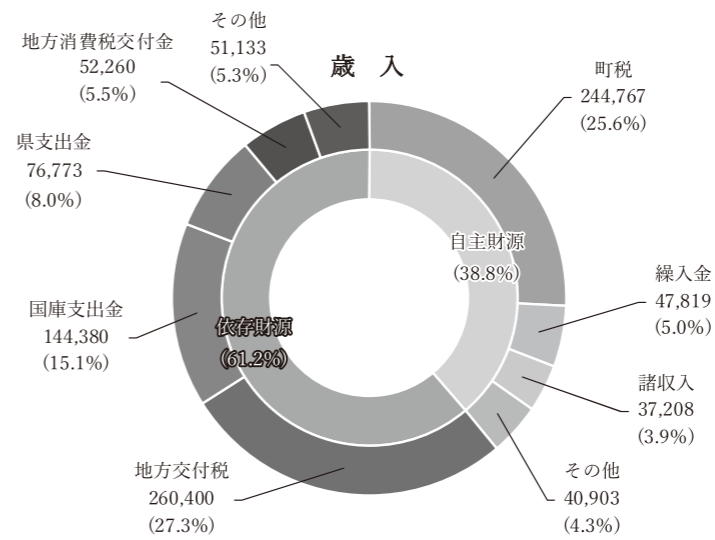


荒瀧 穂積 議員

Q 自主財源はいくらか

A 町長

一般会計予算額約95億6千万円のうち、約37億円である。



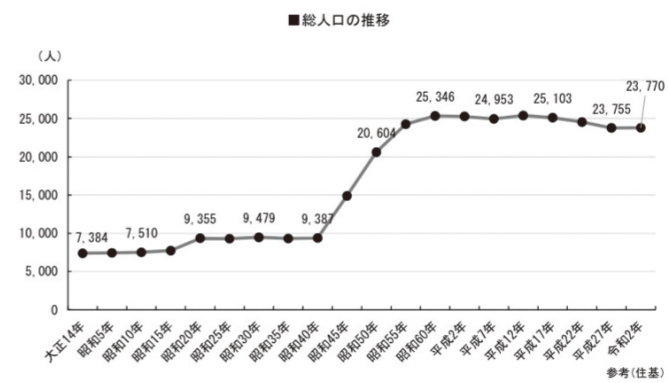
【Q1】 予算審議の3月定例会である。執行力の伴う予算案でなくては効率的な行政はできない。町と町民全体の協力による自主財源はいくらあるのか。

【A1】 一般会計歳入予算額約95億6千万円のうち自主財源は37億円程度となっており、以前より増加している状況にある。要因は、税制改正等によるものと、ふるさと納税における寄附金等による。将来想定は、大幅な人口増が見込めず、横ばい若しくは若干の減少傾向になると考える。

Q 少子化対策はどうなっているか

A 町長

人口維持に計画的に取り組んでいく。



【Q1】 G7が開かれるため各国の出生率について調べた。各国の出生率の状況は、フランス1.8、イタリア1.2、日本1.3、韓国0.78である。

【A1】 熊野町の出生率は、人口ビジョンの将来展望を実現するため、第2期熊野町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。若い世代の出産、子育ての希望を実現するため居住、雇用などの生活環境や教育など不安を解消し安心できる取り組みを進める。令和3年の広島県の出生率は1.42である。熊野町もその程度であると思っている。

永年の功績により受賞！～自治功労者等表彰～

議員在職27年以上として、山吹富邦議員、議員在職14年以上として、荒瀧穂積議員が全国町村議会議長会からそれぞれ表彰を受けられました。



▲山吹 富邦 議員



▲荒瀧 穂積 議員

広報コンクールにおいて写真部門で入選！

第40回広島県町村議会広報コンクールにおいて、くまの議会だより第120号（令和3年11月発刊）が写真部門で入選しました。

今後もみなさまのお手に取っていただけるよう、見やすい・分かりやすい議会だよりを目指し、広報委員一丸となって取り組んでまいります。



▲くまの議会だより 第120号

定数2人減の14人体制の議会となり、新人・再選議員により
広報編集へ臨みます。
広報委員を中心に、町民の皆さま、議会の活動をより分かりやすく
伝えられる広報紙の作成を目指します。

広報委員の紹介

読んでいただける広報紙を目指して!



竹爪 委員長

分かりやすく すっきりと。



福田内 副委員長

ご意見どしどし
お聞かせください。



光本 委員

分かりやすい紙面を
目指します。



水原 委員

皆さんが読みやすい紙
面づくりを目指します。



世良 委員

皆さまに伝わる広報
紙を目指します!



藤本 委員

次の定例会は

6月13日(火曜日)

開会を予定しています

議会だより題字

小田原正龍さん

竹爪
憲吾



衣替えの季節となりました。
広報委員会も新人議員
2名を交え、6名の新体
制でスタートしました。
議員定数2名減となっ
た議会ですが、以前にも
増して活発に議論を重ね
ていき、その様子をより
一層分かりやすく、「議
会だより」で伝えてまい
ります。
議会と町民の皆さまの
架け橋として、読んでい
ただける広報紙を目指し
ます。

あ
と
が
き